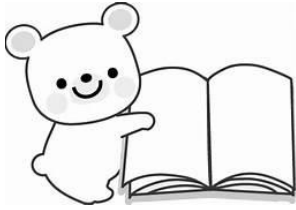


ほんじつ ほん ～本日のおすすめの本⑬～



『子どものための防災BOOK』



～72時間生きぬくための101の方法～

なつ みどり ちよ とうしんしゃ しゅつぱん ねんしよほん
夏 緑 著 童心社 出版(2012年初版)

*この本は 3類の書棚にあります。(貸出可能)

6月22日(月)に、今年度はじめての避難訓練がありました。大きな地震がおきたという設定での避難訓練でしたが、みなさんととても真剣に取り組んでいましたね。

日本は「地震列島」といわれるほど、地震が多い国です。2011年におきた「東日本大震災」では地震の後におきた「津波」が、実にたくさんの人の命を奪いました。

次に、いつ、どんなときに、わたしたちは未曾有の災害に出くわすか、だれにもわかりません。それは、5分後にやってくるかもしれません。毎年、台風による被害も増えています。だからこそ、避難訓練などを通して、いざというときにしっかりと冷静に動けるように、備えておくことが必要ですね。

この本では、「72時間」というのがキーワードになっています。

災害がおこって助けがくるまで、長くても3日間(72時間)なんとか生きのびれば、助かる可能性が高いそうです。

(本文より)

「この本は、子どもだけでも読めるように、かんたんに書いた……あきらめずに、せいっぱい考えれば、必ず答えが見えてくる。……この恐るべき72時間を、きっと生きぬこう……」と、筆者は書いています。

目次を見るだけでも、参考になります。ぜひ読んでみましょう。

じぶんよみなら 3ねんせい～
よんでもらうなら 1ねんせい～



今回の避難訓練は「地震」でしたが、「火災(火事)」の訓練もあります。火事で怖いのは、物が燃えて発生するガスです。それを吸いこまないために、マスクやハンカチで口をおさえましょう。この本では、「火事から逃げるときは息をとめて逃げる！」とまで言っています。

このほか、駅のホームから落ちたらどうするか……

駅の地下で停電になったらどうするか……

山でうごけなくなったらどうするか…… などなど。

役に立つことがたくさんついていますよ。

Point!

